

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

ブレーキアシスト機能付ビレイデバイス

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例：用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考：製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年
製造日
検査担当
識別番号

コード B:

00 A 0000000 000

製造年
製造月
製造番号
識別番号

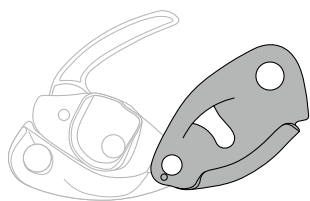
耐用年数が過ぎていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

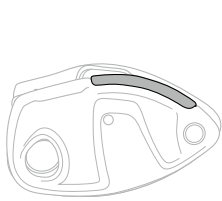
備考：コード B の製造月は1文字のアルファベットで表記されています。A = 1月、B = 2月、C = 3月等

3. 可動サイドプレートの点検

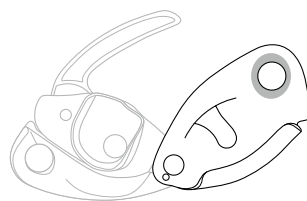
ビレイ デバイス全般



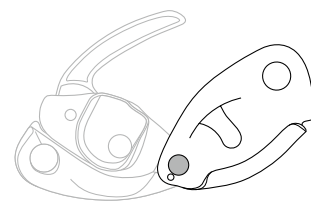
- ・ 可動サイドプレートの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、汚れ等) を確認してください。サイドプレートに穴が空いている場合は製品を廃棄してください。



- ・ ウェアプレート付のモデルはその状態を確認してください。



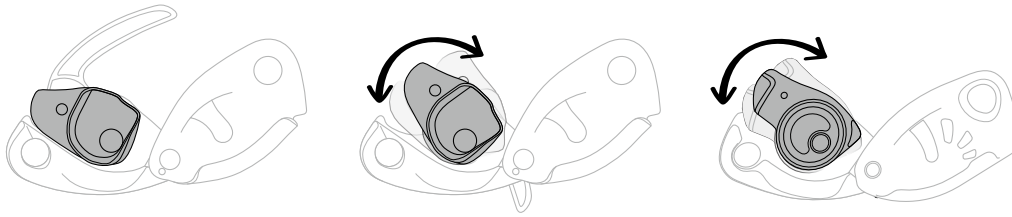
- ・ アタッチメントホールの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。



- ・ リベットが欠損していないことおよびその状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

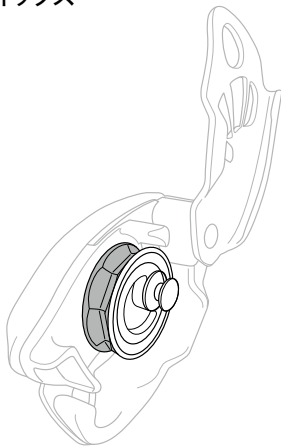
4. フレームの状態の確認

ビレイ デバイス全般

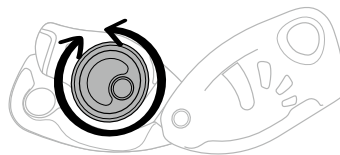


・カムおよび軸の状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、汚れ等) を確認してください。カムの動きとスプリングの効き具合を確認してください。

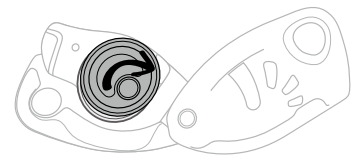
ネオックス



・ネオックスについては、ホイールの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、汚れ等) を確認してください。

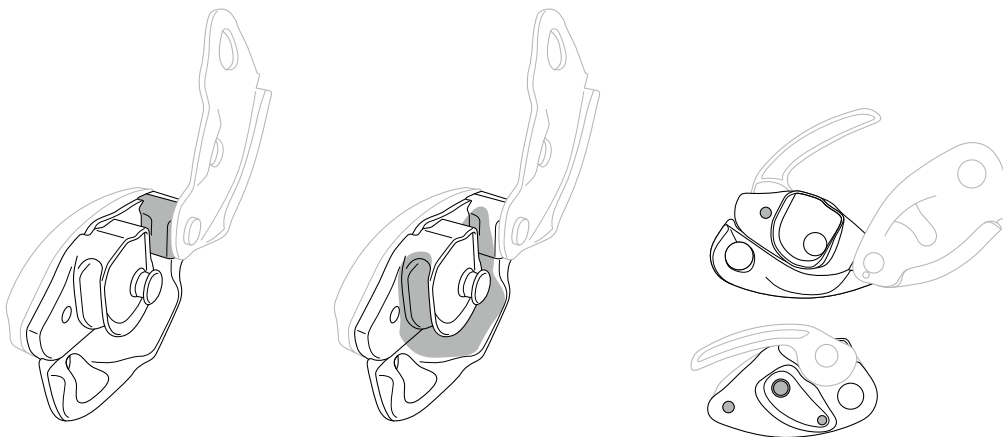


・ホイールが双方向に回転することを確認してください。



・ホイールが上方方向に動くこと、および元の位置に戻すためのスプリングの効き具合を確認してください。

ビレイ デバイス全般



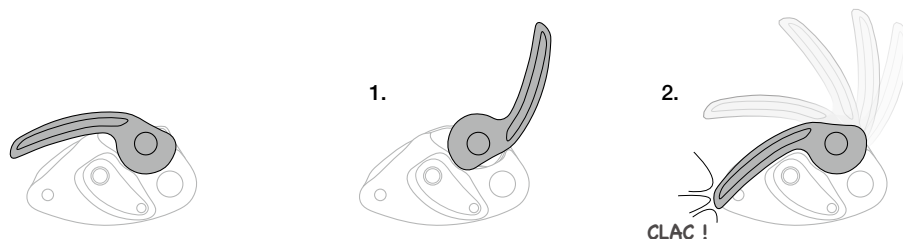
・フリクションプレートの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、汚れ等) を確認してください。

・ロープが通る箇所に異物 (汚れ等) や油の付着がないことを確認してください。

・リベットが欠損していないことおよびその状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

5. ハンドルの状態の確認

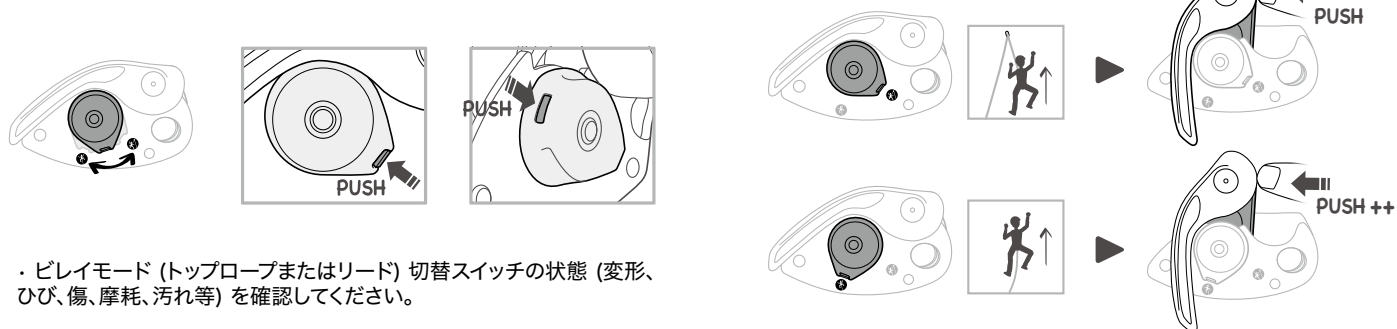
ビレイ デバイス全般



- ・ ハンドルの状態 (変形、ひび、傷、摩耗等) を確認してください。
- ・ ハンドルのスプリングの戻りを確認して下さい。

6. ビレイモード (トップロープまたはリード) 切替スイッチの状態の確認

グリグリ +



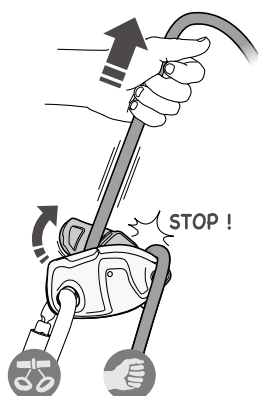
- ・ ビレイモード (トップロープまたはリード) 切替スイッチの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、汚れ等) を確認してください。

- ・ ビレイモード (トップロープまたはリード) 切替スイッチが、各モードで適切に機能することを確認してください。カムを回転させる際の抵抗は、トップロープモードよりリードモードのほうが強くなくてはなりません。

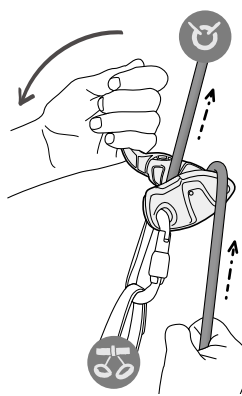
7. 機能確認

ビレイ デバイス全般

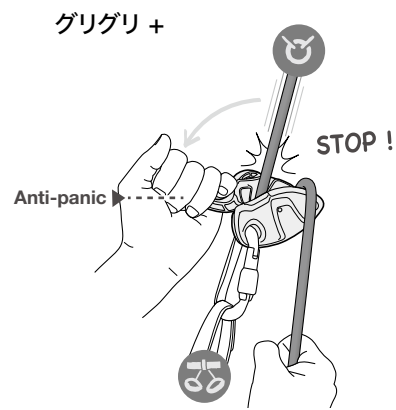
- ・ ビレイデバイスをハーネスにセットした状態で機能確認を行ってください。この確認は、使用しているロープの中で最も径の小さいロープで行ってください。



1. クライマー側のロープを引、ロープがブロックされることを確認してください。



2. 地上レベルでロープにぶら下がってください。下降するには、末端側のロープを握った状態でハンドルを引ます。ビレイデバイスの中をロープが流れる必要があります。



3. グリグリ + については、パニック防止機能が作動することを確認してください。地上レベルでロープにぶら下がってください。末端側のロープを握った状態で勢いよくハンドルを引ます。ロープがブロックされることを確認してください。

8. 補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

- ・ 曲がってしまったグリグリ



- ・ 穴が空いた可動式サイドプレート



- ・ 折れ曲がったハンドル



- ・ 破損したハンドル



- ・ ロープが通る箇所の過度な摩耗



- ・ 破損したハンドル



- ・ ロープが通る箇所の摩耗

